

まず、この本を読んで私に足りないと思っ
た事は、人に幸せを与える事だ。もらう幸せ、
いきなり幸せより、これからはあげられる幸
せによ
って、もって気付ける人間になっ
ていく事が課
題なのだと思おう。今までには与えられ
たら返す
という感じだ、自分発信ではあまり動
いてこ
なかつた。自分から人に喜ばれる事を
するの
は恥ずかしさを覚える時もある。また、
人に
喜ばれるのは嬉しいのだが、等価交換が成
り
立っていないと自分はこれだけして
している
のにという邪な感情を持つてしま
い、相手に
も同等の事を求めてしま
う事もある。その逆
で、これだけしてもら
うに
からそれ相当の事
で返さなく
てはという義務感で動いてしま
う
事もあり、本当に相手を喜ば
せた
いと思っ
て動いてい
ない自分だ
どにか
に
いる。見返りを
求めず、人に喜ばれる事が幸
せと思
えるよ
う
な人間にな
って
いく事が、私
がも
と
と人生を
良
く
して
いく
為
に
必
要
な
事
な
ら
う
だ
と
感
じ
た
。
無償の愛。これからはここが重要である。

職場で毎日掃除をする事で気付いている人間に
成長してきたと思うが、家の掃除は中々気が
進まず疎かにしがちだ。折角綺麗な環境の職
場で自分が磨かれても、家が汚なければ
スマイナスゼロだ。人は毎日見ていても、
接しているものに似てくると鍵山さんは仰
ていたが、私がこんなことではいけません
ても心は綺麗にならないう人並み以上に
なれないという事を突きつけられた気がした。
それと、掃除の優先順位がとて低い事も
題だ。片付いていない部屋を見て片付けよう
とは思いますが、優先順位が低いだけに後回し
にしてしまおう。部屋が汚なくとも生きてい
るし、よほどの覚悟がなければ掃除が
ないというのが今の私だ。だが、部屋が散ら
かっているところ、気分が悪く、空気も波動も悪い
事は感じていいる。掃除をして綺麗になら
その時には心が綺麗になら、ている事も
る。この両方の実感があつたにも関わらず掃
除ができていないのは、優先順位その他に、
自分の

甘さや、責任感の低さ、掃除が自分の中でそ
こまで重要視できておらず、掃除の価値を完
全に理解できていないから、た事が原因かもしれ
ない。どうせ一人だから、誰にも見られない
し、迷惑を掛ける訳でもないという考えは捨
て、自分一人の為にだからこそやるんだという
考えにしていかなければならぬ。掃除は難
しい事ではない。一日一箇所だけでも良い。
ほんの少しづつでも良いから毎日掃除を続け
それが日課になるようになる。ティ
ーニングの確立
をしていく。そして心を磨き、人間として
'と成長し、人生を良くしていく。